

# ほろけん

338 熱中症予防



## 大崎短歌会

兼題 『日焼け・自由』

いとやしの葉影揺れいる病室に

母の清拭日焼けせし手で

見慣れし山（高隈）の景色は事なきに

四季変われども安住尊き

五月晴れ今年も咲いたアマリリス

見るも哀れや日に焼果て

庭仕事真夏の日照りさんさんと

勲章とても笑えぬ心

日焼けせし顔に白粉粧おしろいまわて

夏の思い出今だに冷めず

うち続く田は出穂のきざしみゆ

瑞穂の国というを思えり

がむしやらに働きて来し夫の腕

日焼けせしまま細くなりたる

山下海征

川崎健一

実吉安仁

井元かず子

栢山重子

穂園芳江

本後淑子

艦砲の食べ残しとふ沖繩に

つながる命子らはたくまし

麦わら帽かき上げ九十歳の日焼け顔

汗も肥やしに茄子胡瓜産む

## 薩摩郷句

兼題 『無理』

上南紀子

馬場みさ

無理言むいちめとい 保証人ほしよにんになつ 地獄じごくく見みつ

(唱) こげなん苦はつじや 無ねかつた一生いっせいで

西ノ園ひらり

物価ものば高たかけ 産うめよ殖よやせち 無理むりなこつ

(唱) 産うんもならんが 食くても行いかれん

二見愚楽満

無理むりな政策さつ 頭びんたで作つくつ 田いを知したじ

(唱) 現場げんじやうを知したな 良よか策さか出でらん

下橋清兵衛

少ちす無理むいじや 直いっな叫おつ 老人おんじよ骨ほね

(唱) 膝ひざが腰こしがち 年とし齡なしな叶かわん

上村牛歩

無理むり思しもた 試しちやう着ちやくのMエムを びりびりつやつつ

(唱) 瘦うせちよい心こころ算ずい 少ちす甘あめめかつた

諸木小春

手術しゆじゆ前まへ 煙草たばこを止やめち そんな無理むり

(唱) そいなら手術しゆじゆちや せんせん言いて駄やから

藤元鬼瓦

こら厄やっ介け 無理むりして食くたや 腹はら下くだし

(唱) 子こ供どもじや無ねどが 加か減げん言ごんを知しれ

長重リリー

バックばくテン 爺じ様さまが孫まごい ししつ見みせつ

(唱) 恰か好こうを付つけつ 腰こししゆ違たごわせつ

井上三ちゃん

無理むり言ごたて 何なに事ごとで出で馬ばたか 票ひ数ずじや下げ位ゐ

(唱) 政せい治ちをを変かえち 高たかけ志し

北村虎王

無理むりなこつ またトランプとらんぷが 吠わえででけつ

(唱) 世せ界かいゆゆば揺ゆすつ 厄やっ介けなトとッっプ

遠矢耐多

無理むり思しもが 今こん度どだ瘦やすつち 肥だん満べ女め房ぼう

(唱) 今こん度どだだじや無ねして 今いま即そくく実じつ行こう

上窪小絵

花嫁はなよめが 無理むりち言いなながい 一いっ気き飲のん

(唱) 場ば所じよを考かんげち 両お親やはハはラハら

佐藤ぼっけちゃん